



新河岸川の歴史と景観を巡るサイクリングイベントを開催

平成22年11月16日（火）に新河岸川広域景観づくり連絡会の主催で「新河岸川の歴史と景観を巡るサイクリングイベント」を開催しました。

午前中は、今年3月に作成した「新河岸川景観サイクリングマップ」を使って、サイクリング及びウォーキングを行いました。昼食休憩の後、富士見市立市民総合体育館で参加者全員が新河岸川の将来像についてワークショップを行いました。

このイベントを開催するにあたり、7月に全体会議、8、10月に運営委員会を開催して、どのような内容が良いか、当日の役割分担などについて話し合いを行いました。

当日は、連絡会の会員の方を中心に45名が参加しました。参加者からは、「各地域の人々との交流のなかで共感や違いが分かり参考になった」「サイクリングマップの活用と河岸等が良く勉強することが出来て良かった」「気持ちよくサイクリングすることができて、また新河岸川の良いところを再発見することができた」などの感想がありました。

今回は初めて連絡会主催で行ったイベントで、地域間の交流を図ることができました。この成果を活かして次につなげていくようにしましょう。



ワークショップ終了後参加者の集合写真

ワークショップの成果品を持って、川に沿って写真を撮りました

当日のタイムスケジュール

9:30~10:10 集合スタート

班ごとにルートをまわる

12:00頃 ゴール

昼食休憩（富士見市文化の杜公園）

13:00~14:15 ワークショップ

（富士見市立市民総合体育館）

新河岸川広域景観づくり連絡会について

(1) 目的：①景観づくり、情報発信等に取り組む

②地域間の住民、団体の交流を図る

(2) 対象地域：新河岸川とその周辺の地域

(3) 取り組み内容：①つなげる（情報交換、団体間の連携した取り組み）

②広める（新河岸川の景観の紹介、PR）等③学ぶ（景観・歴史・文化を学ぶ）

(4) 代表者：NPO ゆめつるせ 代表 小杉 武

(5) 構成メンバー：これまで新河岸川広域景観プロジェクトに参加していただいた団体、個人の方

(6) 発足日：平成22年3月27日

ワークショップでのあいさつの様子
代表 小杉 武氏



イベント当日に通った各コースのルートを紹介

4つのコースに分かれて、おもに新河岸川の土手沿いを班ごとにA、B、Dコースは自転車で、Cコースは徒歩でゴールの富士見市文化の杜公園を目指しました。当日は穏やかな秋晴れで気持ちよくサイクリングやウォーキングをすることができました。



Aコース（自転車） 片道約 12.7km



仙波河岸史跡公園→新扇橋→旭橋→養老橋→福岡河岸記念館→養老橋左岸→蓮光寺→福岡橋→南畑橋→富士見江川合流点→富士見市文化の杜公園



Bコース（自転車） 片道約 8.3km

福岡河岸記念館→養老橋左岸→蓮光寺→福岡橋→南畑橋→水越門樋→南畑橋→富士見江川合流点→富士見市文化の杜公園

Cコース（徒歩） 片道約 5.9km

旧村山快哉堂→いろは親水公園（こもれびのみち）→富士下橋→いろは親水公園（さくらのこみち）→いろは橋→袋橋→新河岸川の旧河川→木染橋→富士見江川合流点→富士見市文化の杜公園



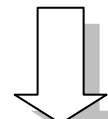
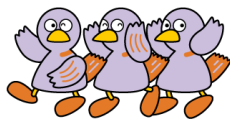
Dコース（自転車） 片道約 9.0km

新河岸川と黒目川合流点の緑地公園→新盛橋→新宮戸橋→旧堤防の公園→富士下橋→旧村山快哉堂→袋橋→木染橋→富士見江川合流点→富士見市文化の杜公園

新河岸川の景観づくりを考えるワークショップ

昼食休憩後、8つのグループに分かれてサイクリングやウォーキングで通った新河岸川沿いのルートを中心の写真を話し合いながら選びました。また、その場所の今後の景観づくりについて意見交換を行いました。

作業1「良い景観の写真を選ぶ」
各コースの写真10枚から班の中で2つ選び、その理由を模造紙に記入。



作業2「新河岸川の景観の将来像について考える」
選んだ写真について、今後の景観づくりについて行動すべきことをふせんに記入し、模造紙に意見をまとめる。

各班の発表のまとめ

この写真を選んだ理由

景観を良くするためにすること



旭橋から見た下流の斜面林

河岸場の跡、豊かな水があり、新河岸川らしさが感じられる

草刈り、ごみ拾いを
する。蛇行した川の地形を
活かした景観づくりをする



養老橋から見た右岸上流の紙面林

春の季節（菜の花）が感じられる

クリーン活動を行う



福岡河岸記念館

建物全体が整備されている

人が多く訪れるように
する案内板を設置する



蓮光寺付近から見た右岸の斜面林

斜面林と左岸の桜並木が良い

左岸の斜面を手入れして、
子供が遊べるようにする



富士見江川との合流点

境界があり歴史が感じられる

柵があって安全

スペースがあるので、
花（つづじ等）で心地
良い空間にする



山下河岸付近から見た上流を望む

斜面林が残っていて、サイ
クリング道路が川に接近して
いる

斜面林、旧河川の湿地帯の手
入れをすると良くなる

今と昔のものをつなぐデザ
インを施す



旧村山快哉堂

手入れが行き届いて
いる

古い建物を残して、歴史を
偲ぶことができる

継続的な維持管理を
する



いろは橋下流左岸の三代の堤防

治水の歴史を学べて貴重である

川、植栽、橋梁との関係が良
い。橋が緑に溶け込んでいる。

三代の堤防を認知する案内板を
設置する

周辺に高い建物があると景観阻
害になるので、景観法を活用し
たルールづくりをする

川辺からの景観を楽しむために
川に降りられる場所をつくる

植栽の管理する



宗岡地区の江戸時代の堤防

堤防に囲まれた田んぼが良
く、曼珠沙華等が堤防沿い
に見ることができる

田、植栽、堤防を残す



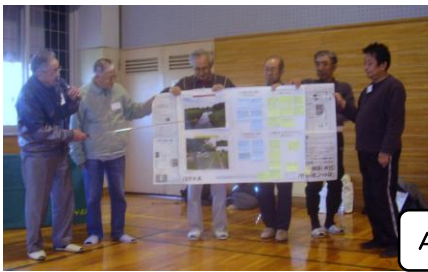
黒目川との合流点の緑地

シンボルツリーを中心に周辺が
良く見える

緑地を人が手をかけている思
いが伝わる

草刈り等の維持管理活動

あまり知られていない場所な
ので、PRをする



A-1 班



B-1 班

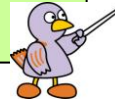


B-2 班



C-1,2 班

全体発表の様子
各班まとめたものを約3分程度で発表していただきました。



D-1 班



D-2 班



D-3 班



D-4 班

「みんなの新河岸川マップ」をつくりました。

体育館のなかでは、模造紙に大きな川の地図を広げて、参加者の方々が新河岸川について自由に感じていることを寄せ書きにしました。普段感じていることや通ってきたルートの感想など、話をしながら賑やかに交流をすることができました。



★アンケートの結果 当日参加された方から貴重なご意見・感想をたくさんいただきました。

景観の中にゴミが露出している点が悪くないので改善が必要。できるものとそうでないものがあるが、見た目をよくして欲しい。

橋のたもとに段ボールがあって景観上好ましくない。

サイクリングロードの手入れが必要。



サイクリングロード又は遊歩道としての道を整備。「ガイド・道路案内板」を適所に立てる。

公共施設を作る時は昔のデザイン・意匠を活かして、景観を良くする。

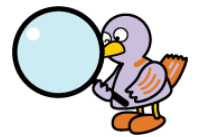
新河岸川の土手の両側に桜を植えて桜並木を実現させたい。

天気も良く時期的に秋の美を感じられよかった。多くの方々と話も出来交流もよかった。



現地をみて、景観はどこで見るか（視点）が大さだと感じた。

普段と違った景色を見ることができました。



皆さん本当に真剣に考えていらっしやる。

仲間と無事完走して良かった。良くない景観を良くする為の話もしたい

すてきな一日を過ごせました。近隣に多くの景観があり、有り難いです。

改めて新河岸川の良い所を発見した。

新河岸川広域景観プロジェクト便に関するお問い合わせ先
新河岸川広域景観づくり連絡会 事務局
埼玉県 都市整備部 田園都市づくり課 景観・屋外広告物担当
電話 048-830-5367 (直通) / FAX 048-830-4879
ホームページアドレス: <http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/m04/>